

平成28年3月14日
消 防 庁

「消防大学校における教育訓練等に関する検討会報告書」の公表

消防大学校では、昨今の消防職員の大量退職・幹部昇任が収束しつつある中で、今後の幹部養成を見直すと共に、大規模災害等の切迫性などを受けた教育訓練の見直し、緊急消防援助隊の編成等に関する改正を受けた部隊運用能力の向上等が求められていることから、これからの消防大学校の更なる高度な教育訓練の構築について「消防大学校における教育訓練等に関する検討会」を開催しました。

この度、検討結果を報告書として取りまとめましたので公表します。

○ 具体的な方策

- 1 幹部科の見直し
- 2 緊急消防援助隊教育～指揮隊長コース～の充実強化
- 3 大規模イベント対策等消防業務の専門化・高度化への対応
- 4 消防における女性の活躍促進
- 5 災害対応力の強化のための実践的な教育訓練の充実
- 6 消防大学校における教育手法の充実等

○ 別添資料

「消防大学校における教育訓練等に関する検討会」報告書の概要

○ その他

「消防大学校における教育訓練等に関する検討会」報告書（全文）は消防庁ホームページ（<http://www.fdma.go.jp/>）に掲載します。



（連絡先）

消防庁消防大学校 教務部

滝部長、久富事務官

TEL 0422-46-1712（直通）

FAX 0422-46-1988

消防大学校における教育訓練等に関する検討会報告書（概要）

契機

- 消防吏員の大量退職・幹部昇任の収束
- 東日本大震災の発生、大地震等の切迫性
- 緊急消防援助隊の大幅増隊
- 社会構造の多様化・少子高齢化の進展 等

課題

1. 退職者減少後の幹部教育の見直し
2. 緊急消防援助隊教育の充実強化
3. 大規模イベント対策等消防業務の専門化・高度化への対応
4. 消防における女性の活躍促進
5. 災害対応力の強化のための実践的な教育訓練の充実
6. 消防団を中核とした地域防災力の強化のための教育訓練

具体的な方策

1. 幹部科の見直し

- 幹部科定員の減少の方向での見直しと教育訓練の質的充実（今後のニーズの動向に応じた柔軟な定員の見直しが適当）
- 指揮能力を高める講座科目や指揮シミュレーション訓練の増加 等
- 消防本部全体のマネジメント力の向上

2. 緊急消防援助隊教育～指揮隊長コース～の充実強化

- 指揮能力・調整能力の高まる教育訓練の充実
- 全国の有識者・経験者からのノウハウ伝授

3. 大規模イベント対策等消防業務の専門化・高度化への対応

- オリンピックをはじめ国際的な大規模イベント開催を控えた対応の強化（NBCコースの充実強化、他学科でのNBC対策、予防・警防等総合的対策のプランニング等教育訓練の充実、開催直前の集中的な教育訓練の実施）
- 社会構造の複雑・多様化等に対応した予防教育の充実
- ICTの更なる利活用と消防活動の高度化の促進
- 急増する外国人への対応促進
- 現任教官科（仮称）の創設

4. 消防における女性の活躍促進

- 女性専用コースの開講
- 女性消防吏員枠の設定（ポジティブ・アクション）
- 幹部の意識改革を進める教育の推進

5. 災害対応力の強化のための実践的な教育訓練の充実

- 複数学科による合同訓練の実施
- 消防研究センターの大規模火災実験棟を活用した危険物災害対応等の実火災体験型訓練の導入
- 危機管理・防災対策の中核的職員の育成
- 消防団を中核とした多様な主体による地域防災力強化のための教育訓練の充実（消防団長科への事例研究など実践的教育の導入、自主防災活動を促進するノウハウ等に関する教育訓練の充実）

6. 消防大学校における教育手法の充実等

- すべての学科・コースへの段階的なeラーニング導入
- 学生が主体的に学び合う教育訓練
- 消防学校等との連携協力

定年到達者数の見直し(平成16年当時)

